

月の保育 1 月 (1)

【聖句】 幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた。

ルカによる福音書 2-40

ぱんだ組

【目標】・保育者や友だちと集団遊びを楽しむ。

- ・寒さに負けず戸外で身体を動かして遊ぶ。
- ・手洗いうがいの習慣を身につける。

- ★ 風が冷たく感じられる季節になり、戸外の日陰に入ると「さむーい」という声が聞かれるようになりました。そんな寒さにも負けず、ぱんだ組のみんなは、元気いっぱいです。芝生広場をかけっこしたり銀杏や茶色に変身した落ち葉で、アイスクリームや花束を作って冬ならではの遊びを楽しんでいます。冬の伝承遊びや、身体を動かす集団遊びを通して友だちと遊ぶ楽しさを味わいながら、体を十分に動かし体力作りに励んでいきたいと思えます。
- ★ 自分の身の回りの事を自分でやろうとする気持ちが芽生え少しずつ自分で出来る事が増えてきました。冬の体力作りや、自分の健康を守る為に手洗いの後にうがいを取り入れました。最初は、上手に出来なくてもまわりをみながら模倣することで上手にできるようになっていきます。体調を崩しやすくなる季節ですので個々の体調に合わせ無理のないように過ごしていきたいと思えます。 (細谷)

年少組

【目標】・お正月の遊びやおせち料理について知る。

- ・かくれんぼやだるまさんがころんだなど集団遊びを楽しむ。

- ★ 新しい年が始まりました。お正月は、おせち料理を食べたり、家でのんびり過ごしたり・・・ご家族で楽しく過ごされたことと思います。今月は、子ども園でも独楽や福笑いなど、お正月の遊びも取り入れ、日本の文化について子ども達に伝えていけたらと思っています。また、冬休み日記を見ながら、どんな冬休みを過ごしたか、子ども達の話聞くのも楽しみです。
- ★ 運動会や作品展、クリスマス礼拝など学年で協力をする行事にたくさん取り組んできた2学期。これまで遊びにおいても少人数で遊ぶことの多かった子ども達でしたが、2学期の終わり頃には、鬼ごっこなど集団の遊びを楽しむ様子が少しずつ見られるようになってきました。今月は、子ども達にとって何よりも大切な『遊ぶ』ということを通して、2学期に学んだ「協力すること」や「相手を思いやる気持ち」をさらに育てていけたらと思えます。 (鴨志田)

月の保育（2）

年 中 組

- 【目標】・お正月遊びを通して、日本の文化を知り、親しむ
・規則正しい生活を心がけ、寒さに負けない健康な体づくりをする

- ★ 新しい年が始まりました。冬休みはご家族皆様で楽しい時間を過ごされたことと思います。子どもたちから冬休みのお話を聞くのを今から楽しみにしております。冬休み中にコマ回しや、すごろく、福笑い、凧揚げなどのお正月遊びを行ったご家庭も多かったのではないのでしょうか。子ども園でも子どもたちと様々なお正月遊びを行い、日本の文化に親しみを持っていけるような保育をしていこうと思います。ぜひ、ご家庭でもいろいろな伝承遊びを行ってみてください。
- ★ 1月になると寒さも一段と厳しくなってきます。インフルエンザや風邪なども引き続き猛威を振ることが予想されます。しっかりとうがい手洗いをを行い、風邪や病気にならないよう指導していきたいと思います。また、2学期はこおり鬼やどろけいなど、たくさん走る集団遊びを子どもたちは楽しんできました。3学期も天気の良い日には外に出てたくさん体を動かし、寒さに負けない体づくりをしていきたいと思います。 (中島)

年 長 組

- 【目標】・時間を意識しながら行動できるように、規則正しい生活を心がける。
・正月の話や遊びを通して、日本の伝統文化に親しむ。
・発表会に向け、皆で力を合わせて歌や合奏を行う。

- ★ 新しい一年が始まりました。今月は、正月ならではの食べ物やお飾り。コマ回しやすごろく、カルタなどの正月の遊びを通して、日本の伝統的な行事の由来や意味を子ども達と一緒に考えてみたいと思います。
- ★ 昨年末のクリスマス礼拝では、子ども達の成長をした姿をご覧頂けたことと思います。子ども達一人ひとりが、イエス様のお誕生をどのような気持ちでお祝いしたらよいかを考え、心を込めて台詞や歌を歌うことが出来ました。今年の年長組の子ども達は、歌を歌うことが大好きです。2月に行われる発表会でも、きっときれいな歌声を聞かせてくれることでしょう。
- ★ 子ども園で先生やお友達と過ごすのも、残りわずかとなりました。4月からはいよいよ一年生ですね。子ども達と一緒に、たくさん楽しい思い出を作ることが出来るように、毎日を大切に過ごしていきたいと思います。
- ★ 寒い日が続きますが、登園時には遅れないように、時計を意識しながら行動出来るよう習慣づけていきましょう。またインフルエンザなどが流行る季節です。うがい、手洗いをしっかりと行い、体調管理を心掛けてください。 (竹腰)